

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鳥取県

学校名

岩美町立岩美北小学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等

小学5年生 総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」の条文をとおして、自分たちに権利があることを理解する。
- ・来年度の最上級生として、自分も友達も大切に作る視点から、新年度の本校児童の行動目標について合意形成をはかり、決定する。

実施した内容

- ・「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」の条文の中で、児童自身が必要だと感じた条文を見つけ、話し合う。（1時間）
- ・自分も友達も大切にするための具体的な行動目標について考え、話し合う。（2時間）
- ・他の学年の児童にアンケートを行い、自分も友達も大切にするための具体的な行動について集約する。（3時間）
- ・自分も友達も大切にするという視点から、新年度の本校児童の行動目標を決定する。（2時間）

工夫した点

- ・障がいのある人の人権を扱った学習の中で、児童は講師から期待されることをメッセージとして受け取った。その学習のつながりとして、子どもの人権課題を位置付けた。
- ・子どもの権利条約の学習から日常の学校生活を振り返ることで、普遍的な視点と個別的な視点の往還を行い、子どもの人権課題について理解を深められるようにした。
- ・学習したことを日常生活に生かせるよう、新年度の本校児童の行動目標の決定を位置付けた。

他教科との
関連

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鳥取県

学校名

岩美町立岩美北小学校

人権課題

障害者

対象学年・
取り扱った教科等

小学5年生 総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・体験や講演をとおして、障がい者の人権課題に係るこれまでの取組や課題について理解を深める。
- ・「世界人権宣言」の条文を学習し、障がいのある人の人権課題の解決に参画しようとする意欲を高める。

実施した内容

- 車椅子バスケットボールを体験するとともに、障がいのある方から話を聞く。（2時間）
- 世界人権宣言の条文と、障がいのある方から聞いた人権課題の重なりを考え、自分にできることを交流する。（2時間）

工夫した点

- 鳥取ユニバーサルスポーツセンター ノバリアに出かけ、車椅子バスケットボールの体験を位置付けたこと。
- 障がいがある方の話と世界人権宣言の内容とを比較することで、個別の視点と普遍の視点の往還を行い、障がい者の人権課題をより深く理解するように工夫した。
- 交流した障がい者の方からのメッセージを受け、「子供」の人権課題に関わる学習へ発展させた。

他教科との
関連

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鳥取県

学校名

岩美町立岩美北小学校

人権課題

ハンセン病患者等

対象学年・
取り扱った教科等

小学6年生 総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ハンセン病患者等の人権課題に係るこれまでの取組や課題について理解を深める。
- ・新型コロナウイルス感染症に係る人権課題について理解を深める。
- ・学習をもとに、「安心して生活ができるふるさと岩美」をキーワードに、町民の方へのメッセージを作成する。

実施した内容

- ハンセン病患者等の人権課題について調べる。（1時間）
- 絵本「時の響きて」の作者の方の話を聞く。（2時間）
- 世界人権宣言の条文とハンセン病患者等の人権課題との重なりを考え、ハンセン病患者の人権課題について理解を深める。（1時間）
- 新型コロナウイルス感染症に関わっている看護師の方の話を聞く。（1時間）
- 地域のケーブルテレビで放送する町民の方への私たちのメッセージを作成する。（5時間）

工夫した点

- ゲストティーチャーの話と世界人権宣言の内容とを比較することで、個別の視点と普遍の視点の往還を行い、ハンセン病患者等並びに新型コロナウイルス感染症の人権課題をより深く理解するように工夫した。
- 新型コロナウイルス感染に伴う人権課題について学習することで、ハンセン病患者等の人権課題との共通点を理解し、ハンセン病患者等の人権課題が過去の問題ではないことをとらえさせるようにした。
- 協力・参加・体験を意識し、町民へのメッセージづくりを位置付けた。

他教科との
関連

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鳥取県

学校名

岩美町立岩美北小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

小学3年生 学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・電子メディアの使い方について考え、健康で安全な生活を送るためのルールを、家族のアドバイスを受けながら自己決定する。

実施した内容

- ・電子メディアに関する事前アンケート（Googleフォーム）をもとに、クラスの実態について振り返る。
- ・電子メディアに関する動画を視聴し、ワークシートにまとめたり、発表したりする。
- ・これからの家庭の中での電子メディアに関するルールを家族と話し合う。
- ・ふり返りを書く。

工夫した点

- ・事前に児童の実態をアンケートで把握し、実態をもとに学習を進めた。
- ・参観日に学習を行い、親子で話し合い、家庭内でのルールを決めた。

他教科との
関連

- ・道徳科の学習で、約束や決まりを守って安全に過ごそうとする態度の育成を図った。